

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	庁舎(本庁舎・第二庁舎・第三庁舎・議場棟・公会堂・さんさん館)									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	3
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	4	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	16,660.03	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分 □ 1年未満					
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	■ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 □ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	8	2	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=②×0.0258)	②	564	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	③	1,096	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=④)	④	10	t
総計(⑤=②+③)	⑤	1,106	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの排出原単位(⑥=⑤×1000/事業所等の延床面積)	⑥	65.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) ⑤=④×1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑧	排出量 ^{※1} (t) ⑨=⑧×④×44/12
都市ガス	□	Nm ³	24,514.4	45.00	1,103.1	0.014	55.0
その他(A重油)	□	L	397.0	39.10	15.5	0.019	1.1
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	□ kWh	0.0	9.97	0.0	0.489
	夜間(22時~翌日8時)	□ kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□ kWh	2,127,795.0	9.76	20,767.3	0.489	1,040.5
規則第5条の17第3項の場合のみ値 ^{※2}	合計	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					21,885.9		1,096.6
水道及び工業用水道	□	m ³	15,244.0			0.251	3.8
公共下水道	□	m ³	15,687.0			0.439	6.9
合計							10.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑨=(⑧/1,000)×④とする。

※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=(①/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数)×1,000 ③=(②/1,000)×④とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置		
		A203	具体的な取組目標と内容の設定		
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
				B107	主要設備の使用状況の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C105	昼休み時の消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C124	冷凍機等の出入口温度把握と調整
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C508	空室・不在時等の空調停止	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
	設備保守対策			C128	ポンプ・ファンの流量、圧力調整
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E125	高輝度誘導灯の導入
		E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人感センサの採用
			E112	空調用高効率冷凍機の採用	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
目標値等(選択)	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

運用対策追加事項(C110、C111)

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	大沢コミュニティ・センター												
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	2			
事業所等の所在地	〒181-0015 区市町村名 東京都三鷹市												
事業所等の延床面積	3,680.81 m ² 事業所等の実績年度のエネルギー使用期間 ☒ 1年度分 ☐ 1年未満												
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有												
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)												
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他												
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分 ☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当								
前年度の報告内容からの変更点													

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	④	47	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	⑤	91	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	⑥	2	t
総計(④+⑥)	⑥	93	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑦=②×1000/事業所等の延床面積)	⑦	24.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	3,335.9	45.00	150.1	0.014	7.5
その他(LPG)	☐	kg	49.5	50.80	2.5	0.016	0.1
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気(昼間(8時~22時))	kWh	142,573.0	9.97	1,421.5	0.489	69.7
	点検(22時~翌日8時)	kWh	29,868.0	9.28	277.2	0.489	14.6
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					1,851.3		92.0
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,926.0			0.251	0.7
	公共下水道	m ³	2,926.0			0.439	1.3
合計							2.0

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑦=(⑥/1,000)×⑧とする。

※2 ⑧=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑨=(⑧/1,000)×⑩とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善
		A204	取組状況の点検体制の構築	A208	組織横断的な推進体制の整備
				A213	推進担当者の知識向上・内部還元
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C105	昼休み時の消灯の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C502	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C503	利用客数の時間帯別把握
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更		
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
		E114	高効率パッケージの採用		

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

登山平度の地熱減化対策の目標					
目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

・冷暖房の使用時期を極力遅らせる等、極力使用しないように努めている。やむを得ない時は消費電力の少ない機器で対応。

・照明については、最低限の点灯にしている。

・夏期の冷房使用について、可能な限りの節電を心がけている。

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	牟礼コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	8
事業所等の所在地	〒181-0002 区市町村名 東京都三鷹市									
町名番地以下	牟礼7-6-25									
事業所等の延床面積	2,483.66		m ²		事業所等の実設年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	④	40	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	⑤	77	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	⑥	1	t
総計(②+③)	⑦	78	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑧=②×1000/事業所等の延床面積)	⑧	31.0	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	4,425.3	45.00	199.1	0.014	9.9
その他(LPG)	☐	kg	23.4	50.80	1.2	0.016	0.1
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	kWh	98,808.0	9.97	985.1	0.489
		夜間(22時~翌日8時)	kWh	39,860.0	9.28	369.9	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		kWh	0.0	9.76	0.0	0.489
合計					1,555.3		77.8
その他	水道及び工業用水道	m ³	2,497.0			0.251	0.6
	公共下水道	m ³	2,497.0			0.439	1.1
合計							1.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑧=(⑥/1,000)×⑨とする。

※2 ⑨=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の稼働時間)/1,000

⑨=(⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備	
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B107	主要設備の使用状況の把握	
		B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
			C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C103	日本工業規格に準じた照度の設定
			C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
			C114	事務用機器を省エネモードに設定	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
			C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
			C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
	設備保守対策		C508	空室・不在時等の空調停止	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
					C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
					C129	季節に応じた温度設定の見直し
			D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
			D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
			D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
設備導入対策		D106	ボイラ等の定期点検の実施			
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E102	蛍光灯へ電子安定器採用(屋内)	
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用	
		E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)	
		E123	トップランナー機器の採用	E107	蛍光灯へ電子安定器採用(屋外)	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

〇 脱炭素化の目標温度化対策の目標						
目標の有無	☐ 有 ☒ 無					
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)		t
	その他	特記事項に内容を記載				

6 特記事項

職員の移動については基本的に階段を利用

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	井口コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	1
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	1	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	2,324.07	m ²	事業所等の実績年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満						
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	④	44	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	⑤	85	t
二酸化炭素排出量 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	⑥	3	t
総計(③+②+①)	⑦	88	t
二酸化炭素排出原単位 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑧=②×1000/事業所等の延床面積)	⑧	36.5	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ) ⑤=④/1000×⑥	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑦	排出量 ^{※1} (t) ⑧=⑦×⑥×44/12
都市ガス	☐	Nm ³	6,083.2	45.00	273.7	0.014	13.7
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	時間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
	時間(22時~翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	146,815.0	9.76	1,432.9	0.489
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					1,706.7		85.4
水道及び工業用水道	☐	m ³	4,877.0			0.251	1.2
公共下水道	☐	m ³	4,877.0			0.439	2.1
合計							3.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑧=(⑦/1,000)×⑨とする。

※2 ⑨=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑨=(⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備			A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
			A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C113	中間期における外気冷房の実施
		C109	空室・不在時等の空調停止	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C516	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C519	季節に応じた温度設定の見直し
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策	D104	空調フィルターの清掃・点検	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D106	ボイラ等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
				D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策	E103	高効率照明器具の採用(屋内)		
		E114	高効率パッケージの採用		
		E123	トップランナー機器の採用		

実績年度の目標達成状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

プール開催期間の短縮。

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書 (その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	井の頭コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	9
事業所等の所在地	〒181-0001 区市町村名 東京都三鷹市									
町名番地以下	井の頭2-32-30									
事業所等の延床面積	1,984.27		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量 (平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	④	40	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	④	78	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	④	0	t
総計(④=②+③)	④	78	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	④	39.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ⑥	係数 ⑦	熱量 (GJ) ⑧=⑥/1000×⑦	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ⑨	排出量 ^{※1} (t) ⑩=⑧×⑨×44/12
都市ガス	☐	Nm ³	784.0	45.00	35.3	0.014	1.8
その他(LPG)	☐	kg	90.0	50.80	4.6	0.016	0.3
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	156,846.0	9.76	1,530.8
	規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0
合計					1,570.7		78.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	1,052.0			0.251
	公共下水道	☐	m ³	1,052.0			0.439
合計							0.7

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑧/1,000)×⑨とする。

※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑨=⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー 対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
		C109	空室・不在時等の空調停止	C104	採光を利用した消灯の実施
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C130	エレベータ運転台数の制限
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策				
	設備導入対策	D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
				E104	照明点灯範囲の細分化
				E105	照明用入感センサの採用

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	新川中原コミュニティ・センター											
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	1	4		
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	0	4	区市町村名	東京都三鷹市	
町名以下	新川1-11-1											
事業所等の延床面積	2,572.74		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分		□ 1年未満			
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有											
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)											
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他											
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店		■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点												

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=②×0.0258)	②	50	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	③	97	t
二酸化炭素 水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=④)	④	3	t
総計(④=②+③)	⑤	100	t
二酸化炭素 燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=⑤×1000/事業所等の延床面積)	⑥	37.7	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	□	Nm ³	3,103.0	45.00	139.6	0.014	7.0
その他(LPG)	□	kg	146.2	50.80	7.4	0.016	0.4
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	□ kWh	151,866.0	9.97	1,514.1	0.489
		夜間(22時~翌日8時)	□ kWh	32,077.0	9.28	297.7	0.489
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□ kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
	規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	□ kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					1,958.8		97.3
その他	水道及び工業用水道	□ m ³	5,627.0			0.251	1.4
	公共下水道	□ m ³	5,627.0			0.439	2.5
合計							3.9

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、⑥=(③/1,000)×⑦とする。

※2 ⑦=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑧=(⑦/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑨=(⑧/1,000)×⑩とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備	
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元	
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握			
		B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C133	可能な限り低い照度設定
			C109	空室・不在時等の空調停止	C123	室温の適正管理
			C114	事務用機器を省エネモードに設定	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
			C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
			C508	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
					C126	事務用機器の台数見直し・集約化
	設備保守対策				C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
					C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
					C502	採光を利用した消灯の実施
			D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
	設備導入対策		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
			D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
			D106	ボイラ等の定期点検の実施		
			E101	高効率照明ランプの採用(屋内)		
		E103	高効率照明器具の採用(屋内)			

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%	
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t	
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

運用対策(全体業者)C104、C122、C129、運用対策(業務部門)C513、C516、C519

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	連雀コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	2	0
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	3	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	2,896.07		m ²		事業所等の実積年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0268)	①	57	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	②	111	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	③	2	t
総計(④=②+③)	④	113	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=②×1000/事業所等の延床面積)	⑤	38.3	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	5,864.7	45.00	263.9	0.014	13.2
その他(LPG)	☐	kg	23.7	50.80	1.2	0.016	0.1
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	昼間(8時~22時)	☐	kWh	0.0	9.97	0.0
		夜間(22時~翌日8時)	☐	kWh	0.0	9.28	0.0
	その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)		☐	kWh	201,349.0	9.76	1,965.2
	規則第5条の17第3項の場合のみなし値 ^{※2}		☐	kWh	0.0	9.76	0.0
合計					2,230.3		111.7
その他	水道及び工業用水道	☐	m ³	3,138.0		0.251	0.8
	公共下水道	☐	m ³	3,138.0		0.439	1.4
合計							2.2

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑤=(⑥/1,000)×⑩とする。

※2 ⑩=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑩=(⑩/電気その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑩とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A205	取組内容や点検体制の定期的改善	
		A204	取組状況の点検体制の構築	A215	優良事例の組織内共有体制の構築	
				A216	所内会議・研修会等で報告	
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B104	設備ごとに詳細に把握	
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握	
省エネルギー対策	運用対策		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C107	空調機スイッチに空調範囲を表示
			C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C110	余熱利用による早めの空調停止
			C109	空室・不在時等の空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
			C114	事務用機器を省エネモードに設定	C113	中間期における外気冷房の実施
			C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C115	事務用機器を業務終了時に停止
			C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C505	空調機スイッチに空調範囲を表示
			C506	余熱利用による早めの空調停止	C510	その他設備の不使用时の停止
			C508	空室・不在時等の空調停止		
	設備保守対策		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
			D104	空調フィルターの清掃・点検	D105	換気フィルターの清掃・点検
			D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
			E114	高効率パッケージの採用	E105	照明用人体感センサの採用
			E123	トップランナー機器の採用	E109	空調の冷温水配管の保温の実施
					E121	高効率ボイラの採用(給湯用)

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分		ランク	CO ₂ 削減率(前年度比)	%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)		kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(総量)	t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹駅前コミュニティ・センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	8
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	3	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	3,957.87		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		☒ 1年度分 ☐ 1年未満			
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	1	連鎖化事業区分		☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=②×0.0258)	②	82	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=③)	③	158	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(④=⑤)	④	1	t
総計(④+③)	⑤	159	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑥=⑤×1000/事業所等の延床面積)	⑥	39.9	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	☐	Nm ³	418.6	45.00	18.8	0.014	0.9
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	☐	kWh	279,164.0	9.97	2,783.3	0.489	136.5
一般送配電事業者の電線を介して供給された電気	☐	kWh	42,750.0	9.28	396.7	0.489	20.9
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					3,198.8		158.4
水道及び工業用水道	☐	m ³	2,061.0			0.251	0.5
公共下水道	☐	m ³	2,061.0			0.439	0.9
合計							1.4

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑥=(③/1,000)×⑨とする。

※2 ⑨=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

⑨=(⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑩=(⑩/1,000)×⑨とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備
		A204	取組状況の点検体制の構築	A213	推進担当者の知識向上・内部還元
				A215	優良事例の組織内共有体制の構築
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握		
		B105	エネルギー使用量の前年度比較		
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C106	冷暖房温度を都の推奨値へ変更	C115	事務用機器を業務終了時に停止
		C109	空室・不在時等の空調停止	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C118	自動販売機の休日・夜間照明停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C507	温度計等による室温の把握と調整
		C508	空室・不在時等の空調停止	C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策			C514	自動販売機の休日・夜間照明停止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D108	その他設備の定期的な保守・点検
	設備導入対策				
		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E105	照明用入感センサの採用
		E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)
				E109	空調の冷温水配管の保温の実施
			E129	全熱交換器の導入	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無
目標値等(選択)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) % CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t その他 特記事項に内容を記載

6 特記事項

平成26年度に全館の空調設備を新規更新済。平成27年度から会議室内、廊下、非常階段等の自然電球及び蛍光灯照明について、順次LED照明に更新中。

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市芸術文化センター									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	5
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	2	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	9,983.07	m ²	事業所等の実設年度のエネルギー使用期間	☒ 1年度分 ☐ 1年未満						
所有形態	☒ 自己所有 ☐ 他者所有									
報告範囲	☒ 建物の全部 ☐ 建物の一部(テナント) ☐ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	☐ 事務所 ☐ 商業施設(物販) ☐ 商業施設(飲食) ☐ 工場 ☐ 複合施設 ☒ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	9	5	1	1	連鎖化事業区分	☐ 直営店 ☐ 加盟店 ☒ 非該当				
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=④×0.0258)	④	334	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑤)	⑤	643	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑥)	⑥	3	t
総計(②+③)	⑦	646	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの排出原単位(⑧=⑦×1000/事業所等の延床面積)	⑧	64.4	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量 ④	係数 ①	熱量 (GJ) ②=(④×1000)×①	二酸化炭素排出量	
						排出係数 ③	排出量 ^{※1} (t) ⑤=③×④×1/12
都市ガス	☐	Nm ³	87,494.8	45.00	3,937.3	0.014	196.3
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
その他()	☐		0.0				
電気	☒	kWh	781,779.0	9.97	7,794.3	0.489	382.3
一般送配電事業等の電線から介して供給された電気(昼間(8時~22時))	☐	kWh	132,789.0	9.28	1,232.3	0.489	64.9
その他の買電(昼間(8時~22時)以外を含む。)	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	☐	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計					12,963.9		643.6
水道及び工業用水道	☐	m ³	4,296.0			0.251	1.1
公共下水道	☐	m ³	5,132.0			0.439	2.3
合計							3.3

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
 ⑤=(③/1,000)×④とする。

※2 ①=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の総稼働時間)/1,000

②=①/電気のその他の買電(昼間不明の場合を含む。)の係数×1,000 ③=(②/1,000)×④とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策	
		対策番号	対策名	対策番号	対策名
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A211	所内で温暖化対策情報の提供
		A204	取組状況の点検体制の構築		
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B103	時間的に詳細に把握
		B102	関連他者からの情報を加えて把握	B104	設備ごとに詳細に把握
		B105	エネルギー使用量の前年度比較	B106	過去のデータによる傾向の把握
省エネルギー対策	運用対策	C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C104	採光を利用した消灯の実施
		C106	冷暖房温度を部屋の推奨値へ変更	C133	可能な限り低い温度設定
		C109	空室・不在時等の空調停止	C107	空調はスイッチに空調範囲を表示
		C114	事務用機器を省エネモードに設定	C108	温度計等による室温の把握と調整
		C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C110	余熱利用による早めの空調停止
		C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C111	予熱・予冷時の外気導入の停止
		C506	余熱利用による早めの空調停止	C112	季節に応じた外気導入量の適正化
		C508	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気導入の実施
	設備保守対策			C122	冷房と温風の混合損失の防止
		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
		D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
		D104	空調フィルターの清掃・点検	D107	ボイラ等の空気比の調整
設備導入対策	D106	ボイラ等の定期点検の実施	D108	その他設備の定期的な保守・点検	
	E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯時間の細分化	
	E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用人体感センサの採用	
	E114	高効率パッケージの採用	E106	高効率照明ランプの採用(屋外)	
	E123	トップランナー機器の採用	E108	高効率照明器具の採用(屋外)	

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無				
目標値等(選択)	ベンチマーク区分	ランク	CO ₂ 削減率(前年比)		%
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり)	kg-CO ₂ /m ²	CO ₂ 排出量(正負)		t
	その他	特記事項に内容を記載			

6 特記事項

対策メニュー追加事項(その他対策)B107・C115・C118・C120・C121・C123・C124・C125・C126・C127・C128・C129・C131・C132・C302・C303・C305・C307・C309・C510・C511・C512・C514・C516・C517・C518・C519・C520・C522・C524・E109・E110・E111・E113・E118・E121・E122・E124・E125・E129・E130・E131・E133・E136・E138・E139

(日本工業規格A列4番)

地球温暖化対策報告書(その2)

1 事業所等の概要

事業所等の名称	三鷹市立アニメーション美術館									
事業所番号	A	1	0	3	5	-	0	0	0	3
事業所等の所在地	〒	1	8	1	-	0	0	1	3	区市町村名 東京都三鷹市
事業所等の延床面積	3,581.99		m ²		事業所等の実績年度のエネルギー使用期間		■ 1年度分 □ 1年末満			
所有形態	■ 自己所有 □ 他者所有									
報告範囲	■ 建物の全部 □ 建物の一部(テナント) □ 建物の一部(その他)									
報告範囲の主たる用途	□ 事務所 □ 商業施設(物販) □ 商業施設(飲食) □ 工場 □ 複合施設 ■ その他									
日本標準産業分類における細分類番号	8	2	1	3	連鎖化事業区分		□ 直営店 □ 加盟店 ■ 非該当			
前年度の報告内容からの変更点										

2 原油換算エネルギー使用量及び二酸化炭素排出量(平成29年度の状況)

原油換算エネルギー使用量(①=⑩×0.0258)	①	229	kl
燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の量(②=⑪)	②	445	t
水道及び工業用水道の使用並びに公共下水道への排水に伴って排出される二酸化炭素の量(③=⑫)	③	10	t
総計(④=②+③)	④	455	t
二酸化炭素燃料等の使用に伴い排出される二酸化炭素の延床面積当たりの量(⑤=④×1000/事業所等の延床面積)	⑤	124.2	kg-CO ₂ /m ²

3 二酸化炭素排出量等の内訳

燃料等の種別	推計の使用	単位	使用量	係数	熱量(GJ)	二酸化炭素排出量	
						排出係数	排出量 ^{※1} (t)
都市ガス	□	Nm ³	32,433.2	45.00	1,459.5	0.014	72.8
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
その他()	□		0.0				
電気	□	kWh	0.0	9.97	0.0	0.489	0.0
一般送配電事業者の電線路を介して供給された電気	□	kWh	0.0	9.28	0.0	0.489	0.0
その他の買電(昼夜間不明の場合を含む。)	□	kWh	762,022.0	9.76	7,437.3	0.489	372.6
規則第5条の17第3項の場合のみ ^{※2}	□	kWh	0.0	9.76	0.0	0.489	0.0
合計						8,896.8	445.4
水道及び工業用水道	□	m ³	14,438.0			0.251	3.6
公共下水道	□	m ³	15,589.0			0.439	6.8
合計							10.5

※1 電気の使用、水道及び工業用水道の水の使用並びに公共下水道への排水に伴う二酸化炭素排出量は、
⑩=(⑤/1,000)×⑪とする。

※2 ⑪=(都が指定する原単位×延床面積×事業所等の稼働時間)/1,000

⑫=(⑩/電気のその他の買電(昼夜間不明の場合を含む。))の係数×1,000 ⑬=(⑫/1,000)×⑩とする。

(日本工業規格A列4番)

4 地球温暖化対策の実施状況

		重点対策		その他対策		
		対策番号	対策名	対策番号	対策名	
組織体制の整備		A202	温暖化対策推進担当の配置	A201	地球温暖化対策の方針等の設定	
		A203	具体的な取組目標と内容の設定	A208	組織横断的な推進体制の整備	
		A204	取組状況の点検体制の構築	A210	外部専門家への相談依頼の実施	
				A211	所内で温暖化対策情報の提供	
エネルギー等の 使用状況の把握		B101	自ら入手可能な情報に基づく把握	B106	過去のデータによる傾向の把握	
		B105	エネルギー使用量の前年度比較			
省エネルギー対策	運用対策		C101	空室・不在時等のこまめな消灯	C102	照明スイッチに点灯範囲を表示
			C109	空室・不在時等の空調停止	C113	中間期における外気冷房の実施
			C501	個室等不使用箇所のこまめな消灯	C125	進入外気に伴う空調負荷の低減
			C504	利用状況に応じた空調の設定変更	C116	個人用端末の不用・離席時の停止
			C508	空室・不在時等の空調停止	C117	便座ヒーター等温度の季節別設定
					C120	外灯等の点灯時間の季節別管理
					C512	進入外気に伴う空調負荷の低減
					C513	便座ヒーター等温度の季節別設定
	設備保守対策		D101	ランプ等の定期的な清掃・交換	D102	セントラル空調のフィルター清掃
			D103	中央熱源機器等の定期点検の実施	D105	換気フィルターの清掃・点検
			D104	空調フィルターの清掃・点検		
	設備導入対策		E101	高効率照明ランプの採用(屋内)	E104	照明点灯範囲の細分化
			E103	高効率照明器具の採用(屋内)	E105	照明用入感センサの採用
					E111	ポンプ・ファンのインバート制御

実績年度の目標達成の状況 ☐ 目標達成した。

5 提出年度の地球温暖化対策の目標

目標の有無	☐ 有 ☒ 無
目標値等(選択)	ベンチマーク区分 ランク CO ₂ 削減率(前年度比) %
	CO ₂ 排出量(延床面積当たり) kg-CO ₂ /m ² CO ₂ 排出量(総量) t
	その他 特記事項に内容を記載

6 特記事項

・屋上緑化対策、雨水利用、クールテュブ導入等により、竣工時より省エネ対策を考慮した運用を実施している。

・トイレの便座ヒーターの温度調節と管理(夏期はヒーターを停止、又は温度を低く設定)

・館内照明器具のLED化を進めている。

・太陽熱遮断の観点により、一部ガラスに遮熱フィルムを施工し、冷房効果向上させている。

(日本工業規格A列4番)